

「塾長からのメッセージ」読者部だより東京新聞 2020年6月7日朝刊を読む

1. 「家庭学習として、新聞を毎日 30 分以上読み、自分の力で考えることを奨励しています」
2. 東京都内や北関東で多数の進学塾を開設・経営している塾長さんから先月、「今ほど家庭で新聞を読むことが求められている時はないのだから、新聞社も頑張ってもらいたい」というメールをいただき、認識を新たにしています。
3. 休校中の教育の場で、どうやってオンライン授業を進めていくかなど IT 化が課題になっている中で、塾長は「安倍首相が 3 月 2 日からの学校休校を要請して以来ずっと、『家庭学習』の支援を行うことが学習塾の社会的使命と考えている」と言います。
4. 「新聞と同時に、自分の好きな本を 1 日 1 時間以上読む、加えて分からない言葉があったら辞書で調べること。1 日 10 回辞書を引き語彙力を身に付ける指導をしています」と説明してくれました。
5. 「新聞・読書・辞書を活用して、家庭学習と自学自習の前提である、読解力と学習習慣を身に付けることを目指します」と強調。
6. 「学校再開後も学校早帰りが続くと思われるので、2020 年は『家庭学習充実の年』と『定義』し、「塾の先生からの保護者に、塾生は必ず、カバンの中に、昨日の新聞、自分好きな本 1 冊、辞書、塾生ハンドブックを入れ通塾するよう、お願いしている」のだそうです。
7. 塾のホームページを見ると、保護者の質問に答える形で塾長が「毎日読もう」と呼び掛けています。
8. この塾の取り組み、新聞側が協力していかなければと決意した次第です。

#### <コメント>

昨年 2019 年 8 月、宇都宮市で開催された NIE 全国大会のシンポジウムでパネリストとしてご一緒させて頂いた東京新聞の責任者の方に開倫塾の取り組みをメールさせて頂いたところ、はからずも本日の紙面でご紹介いただいた。新聞社と協力して、子どもたちの家庭学習として新聞をいかに取り入れることができるかを考えたい。光栄で、また、有難い限りです

2020年6月7日(日)